

いま、求められる真のソーシャルワーク実践とは何か

見失われつつあるソーシャルワークを仲間と 共に探る講座

10年先の社会を創る



実践ソーシャルワーク塾主催

6/9(日)12時30分**現地集合**
ウイング横浜121研修室 17時終了
予定

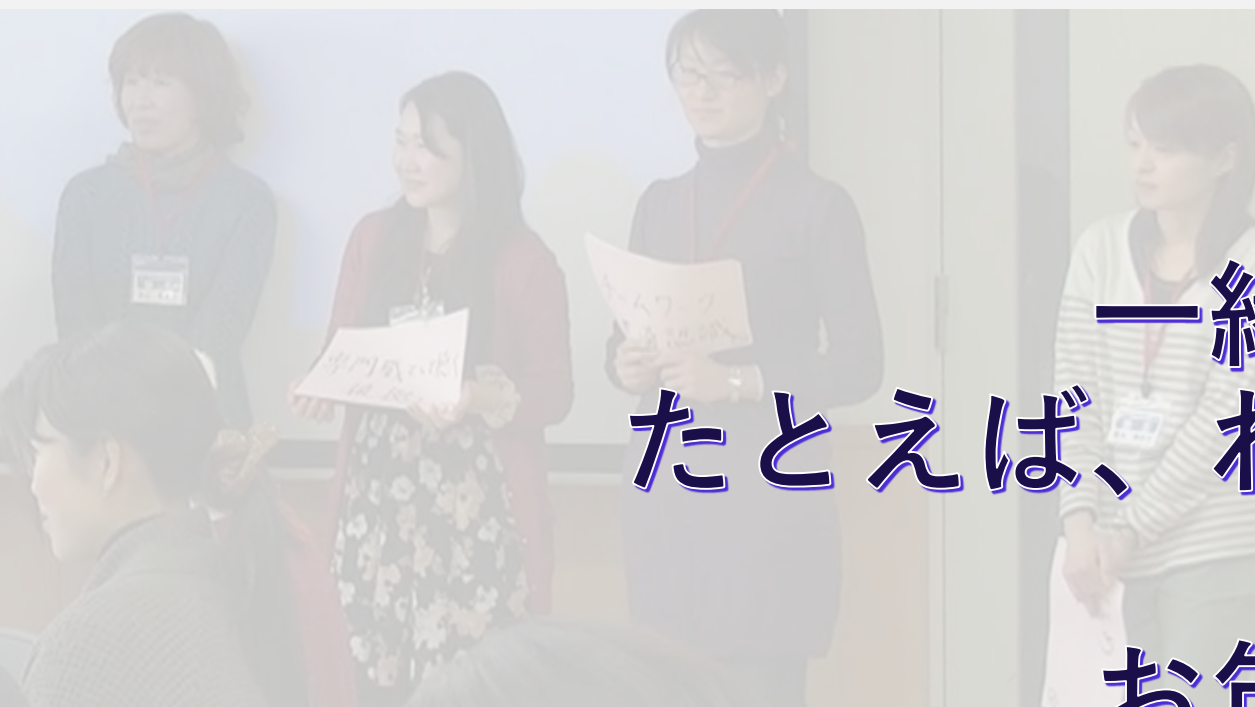
参加費ドリンク代込み**ワンコイン@500**



当日現地集合参加も歓迎、

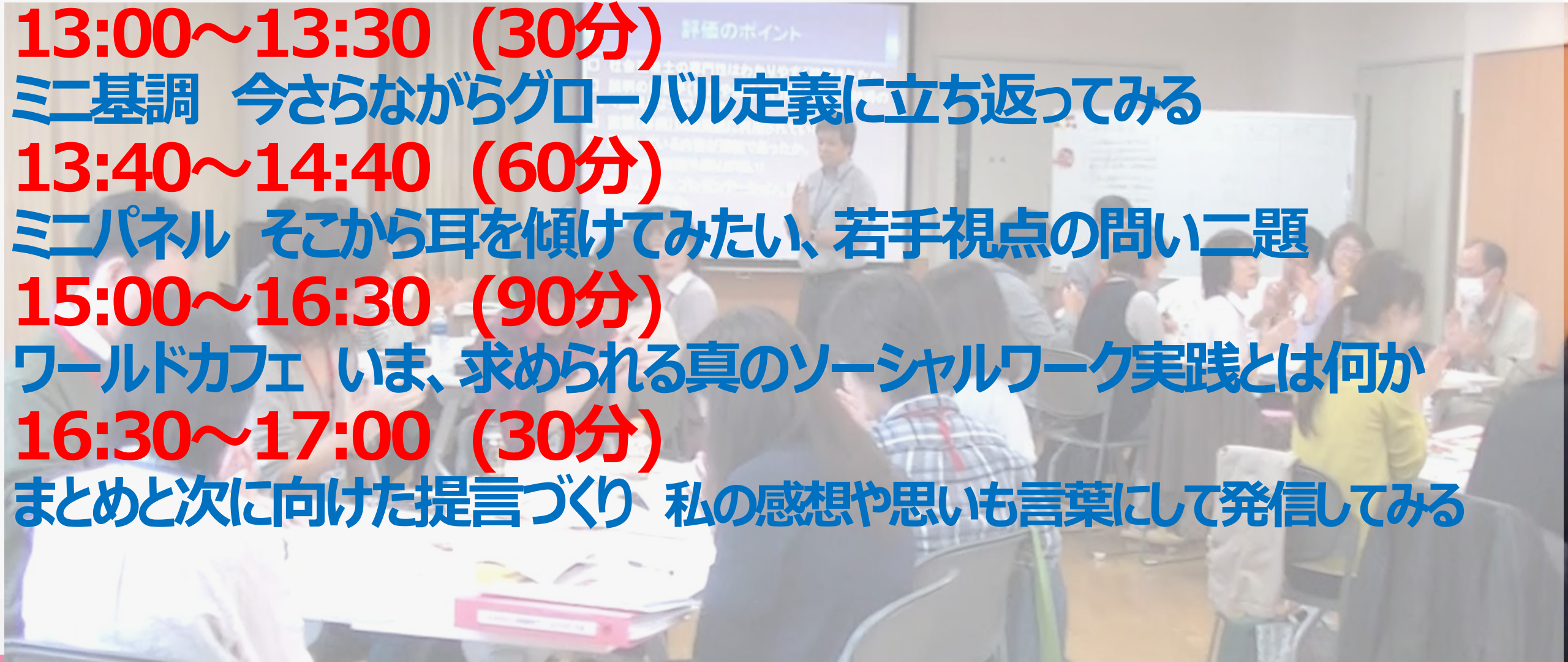
↑
事前申込問合せはこちらのメールへ

家庭が変わり、地域が変わり、学校が変わり、社会が変わる・・・ いま、地域や家族についてのリアリティって何？



一緒に考えてみませんか、
たとえば、わかものたちにとっての
子どもたちにとっての
お年寄りにとってのリアル

今回のアジェンダ

- 
- 13:00~13:30 (30分)**
ミニ基調 今さらながらグローバル定義に立ち返ってみる
- 13:40~14:40 (60分)**
ミニパネル そこから耳を傾けてみたい、若手視点の問い二題
- 15:00~16:30 (90分)**
ワールドカフェ いま、求められる真のソーシャルワーク実践とは何か
- 16:30~17:00 (30分)**
まとめと次に向けた提言づくり 私の感想や思いも言葉にして発信してみる

3年から10年で迎える ソーシャルワーク専門家 としての行き詰まり感、 加速する現代社会の変化

- 研修で知識がリアリティある実態と結びついていない気がする。
- 技術を体得したり、資格を取得しても名目だけで、
実際の実践の問いと一致していない気がする
- バリエーションは広がった気がするだけで成長した気がしない
- どうも地位や収入に還元されていない気がする

答えはあるのか・・・



予定調和ではない意思決定

「今、ここで起こったこと、対話からはきっと答えはこうであると言える・・・一回性でしかない回答にこそむしろ価値がある」

それは、そういう一回性でしかない誰かに向き合っている意思の証そのものだからである。

次も必ずという「安全、快適、便利」の保証はそこにはないかもしれない。それでも、それは主体的な意思決定方法についてのことのほか重要なエビデンスである。

唯一の可能性は、都度都度の「今、ここ」を共に共有する相手との対話し答えを見出そうとする

その手続方法についての可能性である。

実践ソーシャルワーク塾は、IFSWのグローバル定義を足掛かりに性別や年齢、所属や領域を超えたコミュニティの形成とその意思決定手法、その再生産をソーシャルワークの実践課題と捉え、プラットフォームの場の形成の実践カトレーニングに力を入れている

